

令和 4 年度

事業報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 3 1 日



社会福祉法人日高市社会福祉協議会

目 次

令和 4 年度事業報告

1 社会福祉事業区分 1

(1) 地域福祉事業拠点区分

- ① 法人運営事業
- ② 地域福祉推進事業
- ③ ボランティアセンター活動事業
- ④ 共同募金配分金事業
- ⑤ 生活福祉資金貸付事業
- ⑥ 福祉資金貸付事業
- ⑦ 福祉サービス利用援助事業
- ⑧ 障がい者相談支援事業

(2) ヘルパーステーション拠点区分

- ① 訪問介護等事業
- ② 障がい福祉サービス事業

(3) 総合福祉センター管理・経営事業拠点区分

(4) こまのさと作業所拠点区分

(5) ファミリーサポートセンター拠点区分

2 公益事業区分 37

(1) 地域包括支援センター拠点区分

(2) 障がい者就労支援センター拠点区分

(3) 生活困窮者自立支援事業拠点区分

- ① 生活困窮者自立相談支援事業
- ② 生活困窮者就労準備支援事業
- ③ 生活困窮者家計改善支援事業

(4) 生活支援体制整備事業

令和4年度

事業報告

社会福祉事業区分

社会福祉事業		
I 地域福祉事業		
1 法人運営事業	担 当	地域福祉課
令和4年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
(1) 法人の組織運営 各種取組を通じて法人の情報公開、運営の透明性を高め、市民に信頼される社会福祉法人運営をめざします。 ①理事会の開催 法人の業務を執行します。	(1) 法人の組織運営 法人の使命・理念にもとづき、事業を適正かつ効果的に実施するため、次の業務を行いました。 ①理事会の開催 ・第1回理事会（理事定数11名、出席理事10名、監事1名） 令和4年5月27日（金） 総合福祉センター 議案第1号 令和3年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業報告並びに資金収支決算の承認について 議案第2号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 議案第3号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について 議案第4号 令和4年度第1回評議員会（定時評議員会）の開催について （追加議案） 議案第5号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会選任・解任委員会委員の選任について ・第2回理事会（理事定数11名、出席理事8名、監事1名） 令和4年6月15日（水） 総合福祉センター 議案第6号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会副会長並びに常務理事の選定について ・第3回理事会（理事定数11名、出席理事9名、監事1名） 令和4年8月25日（木） 総合福祉センター 議案第7号 令和4年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第1号）の同意について 議案第8号 令和4年度第2回評議員会の開催について 報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について	

②評議員会の開催 法人の業務に関する重要事項を決定します。	・第4回理事会(理事定数11名、出席理事10名、監事1名) 令和5年1月16日(月) 総合福祉センター 議案第9号 令和4年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)の同意について 議案第10号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会指定訪問介護事業所及び指定介護予防訪問介護事業所運営規程の一部改正について 議案第11号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会「ヘルパーステーションこまの郷」居宅介護運営規程の一部改正について 議案第12号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会こまのさと作業所運営規程の一部改正について 議案第13号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会ヘルパーステーションこまの郷及びこまのさと作業所虐待防止委員会設置要綱について 議案第14号 令和4年度第3回評議員会の開催について ・第5回理事会(理事定数11名、出席理事10名、監事1名) 令和5年3月8日(水) 総合福祉センター 議案第15号 令和4年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)の同意について 議案第16号 令和5年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業計画並びに資金収支予算の同意について 議案第17号 令和4年度第4回評議員会の開催について ②評議員会の開催 ・第1回定時評議員会(評議員定数25名、出席評議員18名、監事2名) 令和4年6月15日(水) 総合福祉センター 議案第1号 令和3年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業報告並びに決算報告書の承認について 議案第2号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会
---	---

③監査の実施 業務執行の状況及び法人の財政の状況を監査します。 ④三役会議の開催 法人の重要事項の事前協議等を行い	理事の選任について ・第2回評議員会（評議員定数25名、出席評議員19名） 令和4年9月12日（月） 総合福祉センター 議案第3号 令和4年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第1号）の承認について ・第3回評議員会（評議員定数25名、出席評議員16名） 令和5年1月31日（火） 総合福祉センター 議案第4号 令和4年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の承認について 議案第5号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会指定訪問介護事業所及び指定介護予防訪問介護事業所運営規程の一部改正について 議案第6号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会「ヘルパーステーションこまの郷」居宅介護運営規程の一部改正について 議案第7号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会こまのさと作業所運営規程の一部改正について 議案第8号 社会福祉法人日高市社会福祉協議会ヘルパーステーションこまの郷及びこまのさと作業所虐待防止委員会設置要綱について ・第4回評議員会（評議員定数25名、出席評議員16名） 令和5年3月28日（火） 総合福祉センター 議案第9号 令和4年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号）の承認について 議案第10号 令和5年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業計画並びに資金収支予算の承認について ③監査の実施 ・令和3年度事業及び決算に関する監査 令和4年5月17日（水） 総合福祉センター ④三役会議の開催 ・第1回 令和4年4月22日（金） 総合福祉センター
---	---

ます。	協議事項 ①付き添い移送支援に関する検討会について 報告事項 ①令和4年度社会福祉協議会年間活動計画書（法人全体） ②寄付の受入状況について（以下毎月） ・第2回 令和4年5月12日（木） 総合福祉センター 協議事項 ①第1回理事会、第1回評議員会（定時評議員会）議案について ②職員採用試験の実施について（再募集） ・第3回 令和4年6月7日（火） 総合福祉センター 協議事項 ①社協会員会費の募集について 報告事項 ①理事、評議員候補者について（令和4年6月15日～） ・第4回 令和4年7月23日（土） 総合福祉センター 協議事項 ①就業規則の改正に関する基本的な方向性について ②共同募金サポーター（仮称）について ③令和4年度あいあいまつりについて ・第5回 令和4年8月16日（火） 総合福祉センター 協議事項 ①第3回理事会議案について 報告事項 ①部門別月次報告 ・第6回 令和4年9月20日（火） 総合福祉センター 協議事項 ①第36回日高市社会福祉大会表彰者の選定について ②福祉スポーツプログラム2022（仮称）の開催について 報告事項 ①各課・センター報告 ・第7回 令和4年10月24日（月） 総合福祉センター 協議事項 ①第36回日高市社会福祉大会について ・プログラムについて 報告事項 ①各課・センター報告 ②令和4年度全国・埼玉県社会福祉大会表彰について ③令和4年度社会福祉協議会会員会費実績について ・第8回 令和4年11月8日（火） 総合福祉センター 協議事項 なし
------------	---

⑤財源確保の促進

ア 区・自治会、事業所等の協力を
得て会員を募集します。

報告事項 ①障がい者スポーツプログラム2022について

②各課・センター報告

・第9回 令和4年12月20日(火) 総合福祉センター

協議事項 ①社会福祉法人日高市社会福祉協議会
ヘルパーステーションこまの郷及びこ
まのさと作業所虐待防止委員会の設置
について

報告事項 ①各課・センター報告

②障がい者スポーツプログラム2022
開催報告

③こま武蔵台地区活性化協議会・設立
準備会について

④川越税務署による実地調査における
指導内容について

・第10回 令和5年1月11日(水) 総合福祉センター

協議事項 ①令和4年度第4回理事会議案につい
て

報告事項 ①各課・センター報告

・第11回 令和5年2月16日(木) 総合福祉センター

協議事項 ①令和5年度事業計画の立案にあたっ
て

報告事項 ①各課・センター報告

・第12回 令和5年3月1日(水) 総合福祉センター

協議事項 ①令和4年度第5回理事会議案につい
て

②職員採用試験の実施について

報告事項 ①各課・センター報告

⑤財源確保の促進

ア 社協会員の募集

会員加入増強期間(7月～8月)を中心に、住民
への啓発を促進するとともに、福祉委員(区長)等
の協力を得て啓発に努めました。

区 分 (年額)	令和4年度実績額	対前年比
一般会員(500円)	3,990,000円	△145,000円
賛助会員(2,000円)	242,000円	△26,000円
特別会員(10,000円)	520,000円	100,000円
合 計	4,752,000円	△71,000円

イ 寄付金の受入れを行います。

ウ 不要な入れ歯や使われないアクセサリーの回収を行います。

(2) 総務・経理業務

①会計処理の適正化

会計処理説明会、予算実績管理支援、職員向け FQA 充実

②総務業務の適正化

備品管理、車両管理、PC 管理、情報管理

③広報の充実

広報紙の編集発行、ホームページ運営

(3) 人事・給与業務

①研修事業の実施（適宜）

②人事・給与システムの運用

③能力評価・業績評価の実施

イ 寄付金の受入れ

地域住民、事業所、団体等からお寄せいただいた寄付金は、合計34件、総額1,611,401円でした。

ウ 不要入れ歯とアクセサリーの回収

日高市役所、総合福祉センター高麗の郷に設置されている回収ボックスより回収を行い、NPO 法人日本入れ歯リサイクル協会へお渡ししました。

収益金51,370円は、日本ユニセフ協会、NPO法人日本入れ歯リサイクル協会、日高市社会福祉協議会へそれぞれ寄付されました。

日高市社会福祉協議会への寄付は、20,548円でした。

(2) 総務・管理業務

①会計処理の適正化

今年度も企画総務担当が会計処理を行うとともに、各課・センターの出納責任者へ予算執行状況を伝達することで予算実績管理及び会計処理の適正化を図ることができました。

職員向けFQA充実については、実施出来ませんでした。

②総務業務の適正化

備品管理やPC管理については、管理簿への記入や盗難防止に努め、車両の管理については、保険加入等、適正に実施することが出来ました。

③広報の充実

広報紙は年3回（7月号・10月号・3月号）発行し、ホームページ運営についても必要に応じて適宜情報を更新しました。

(3) 人事・給与業務

①研修事業の実施（適宜）

実施しませんでした。

②人事・給与システムの運用

システム運用に向けて、社会保険労務士と顧問契約し、就業規則等の見直しを進めました。

③能力評価・業績評価の実施

実施要領を整備し、契約職員を含め能力評価を実施

④福利厚生事業 (予防接種費用の独自補助、職場健診) ⑤職場の安全衛生 (産業医、安全衛生管理業務) (4) 地域支援業務 ①窓口対応などの接客対応の品質向上 ②後援名義使用許可対応、共催事業の支援	しました。 ④福利厚生事業 職場健診は、協会けんぽの補助を利用し、10月の期間内において計画的に受診することが出来ました。 インフルエンザの予防接種は任意接種とし、接種した職員に対して5,000円を上限に補助しました。 ⑤職場の安全衛生 (産業医、安全衛生管理業務) 産業医、安全衛生管理者の選任は出来ませんでした。 (4) 地域支援業務 ①窓口対応などの接客対応の品質向上 朝礼での報告(ブリーフィング)の実施や、業務日誌の回覧を通じて窓口担当者との情報共有を行い、接客対応の品質向上を図りました。 ②後援名義使用許可対応、共催事業の支援 令和4年度後援名義許可件数 12件 共催事業の支援はありませんでした。 【成果と課題】 社協会員会費は、令和4年度も前年度と同様に各世帯をはじめ、法人や事業所からも会員加入をしていただきました。 また、社会保険労務士と顧問契約し、就業規則の見直しや人事・労務管理の相談を行うなど、労働環境の整備と適正な労務管理が出来るよう努めました。 一方で、職員のスキル向上を目的とした研修機会の設定や、コミュニケーションの円滑化など、人材育成に関する対応が不十分であり、課題となっています。
--	---

2 地域福祉推進事業	担 当	地域福祉課地域福祉担当
令和4年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
(1) 地域支え合い体制の構築 学校区を住民主体地域活動圏域として、地域支え合い体制の構築を支援します。 ①支援体制準備事業 重層的支援体制構築に向けて、包括的な相談支援体制の構築や参加支援、アウトリーチ等の考え方に基づく事業展開が図られる体制の準備のための取組を市と協働して進めます。 また、住民に身近な圏域において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備を進めます。 ア 相談支援者情報交換会議(仮称)の開催【新規】 イ 地域福祉連絡会 ②コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置 地域の個別の問題解決と地域づくりを進めるため、CSWを配置します。	(1) 地域支え合い体制の構築 ①支援体制準備事業 ア 相談支援者情報交換会議(仮称)の開催 重層的支援体制の構築に向けて、支援者間の会議の開催を計画しましたが、実施に至りませんでした。今後の展開に向けて、先行して取り組んでいる自治体の視察に同行しました。 令和5年2月13日(月) 草加市役所 イ 地域福祉連絡会 実施に至りませんでした。 【第4次地域福祉活動計画策定関係】 令和6年度を始期とする第4次地域福祉活動計画について、市の地域福祉計画との協働により策定を進めるため、次の取組を進めました。 ○地域福祉計画等策定委員会(オブザーバ参加) 第1回 令和4年10月4日(火) 第2回 令和5年3月23日(木) ○地域福祉市民ワークショップ(市と協働) 第1回 令和4年9月14日(水) 第2回 令和4年10月20日(木) 第3回 令和4年11月17日(木) 第4回 令和4年12月15日(木) 第5回 令和5年1月19日(木) ○地域懇談会(市内6会場。市と共催) 高萩公民館 令和5年1月24日(火) 高麗公民館 令和5年1月25日(水) 高麗川南公民館 令和5年1月26日(木) 武蔵台公民館 令和5年1月31日(火) 高麗川公民館 令和5年2月1日(水) 高萩北公民館 令和5年3月2日(木) ②コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置 高麗川、高萩の2地区に社会福祉士をコミュニティソーシャルワーカー(CSW)として各1名配置(兼務)しました。高麗地区は欠員となりました。	

③日高市民生委員・児童委員連絡協議会との連絡調整 (2) 日高市地域支え合い事業 ①地域おたすけ隊運営支援 ア 保険加入支援 イ コーディネーター会議の開催 (年4回) ウ 運行管理委任自動車の整備 (武蔵台・高根・日高団地) エ 付き添い移送支援に関する協議・検討 ②地域支え合い協力店に関する事務 ア 登録管理 イ 地域商品券精算処理 ③地域支え合いの財源確保の強化 自動販売機の設置等の促進 (3) 地域支え合い活動への助成	③日高市民生委員・児童委員連絡協議会との連絡調整 CSWを中心として、必要な連絡調整を図りました。 (2) 日高市地域支え合い事業 ① 地域おたすけ隊運営支援 ア 保険加入支援 福祉サービス総合補償への加入を援助しました。 イ コーディネーター会議の開催 (年4回) 活動推進上の留意点等の確認及び情報共有を目的に実施しました。 ・第1回 令和4年4月14日(木) ・第2回 令和4年7月7日(木) ・第3回 令和4年10月13日(木) ・第4回 令和5年1月12日(木) ウ 運行管理委任自動車の整備 (武蔵台・高根・日高団地) 地域おたすけ隊による運転を伴う付添活動を支援するため、委託団体との間で社協所有車両の運行管理業務を委任し、活動に使用する車両を提供することで活動を支援しました。 エ 付き添い移送支援に関する協議・検討 付き添い移送支援のありかたについて検討を進めるため、社会福祉協議会として提案できることを整理するための指導助言を得ることを目的に、専門家を招いて情報収集を行いました。 令和4年12月23日(金) 助言者 埼玉県移送支援ネットワーク 笹沼 和利 氏 ②地域支え合い協力店に関する事務 ア 登録管理 地域商品券を発行、管理し、利用できる協力店の拡大を図りました。 イ 地域商品券精算処理 年間換金取扱金額 5,966,600円(前年比△1,422,600円) ③地域支え合いの財源確保の強化 自動販売機(1台)を設置し、財源の確保に努めました。設置個所の拡大が課題です。 (3) 地域支え合い活動への助成
---	--

①福祉のまちづくり活動助成金

ア 連絡会設置補助金

イ 福祉のまちづくり活動助成金

(4) 地域支え合い意識の醸成

①福祉教育プログラムの支援

市内の学校や職場、地域等で実施できる福祉教育プログラムメニューの開発及び福祉教育プログラムの実施に向けた連絡調整等のほか、ボランティア等を派遣して、その取組を支援します。

①福祉のまちづくり活動助成金

ア 連絡会設置補助金

身近な地域における組織的なたすけあい活動を促進するため、福祉のまちづくり連絡会の運営を支援しました。

- ・こま武蔵台福祉のまちづくり連絡会
- ・宮前福祉のまちづくり連絡会

イ 福祉のまちづくり活動助成金

区・自治会を範囲とする地域福祉活動の振興等を目的に助成金を交付しました。

【助成実績一覧】

内訳	令和4年度	前年比
助成決定件数	31件	18件
助成金交付総額	509,600円	293,000円
特別助成件数(円)	5件(139,600円)	4件(119,600円)

(4) 地域支え合い意識の醸成

①福祉教育プログラムの支援

【福祉教育プログラム支援の実績】 ※表中の人数は延べ人数

学校名 (学年)	区分	令和4年度	前年比
高 麗小	協力者数	6人	6人
	参加児童数	116人	△20人
	時間数	315分	一分
高麗川小	協力者数	8人	8人
	参加児童数	426人	426人
	時間数	315分	315分
高 萩小	協力者数	12人	12人
	参加児童数	485人	200人
	時間数	495分	45分
高 根小	協力者数	16人	11人
	参加児童数	89人	△16人
	時間数	225分	一分
高萩北小	協力者数	4人	3人
	参加児童数	395人	95人
	時間数	450分	180分
武蔵台小	協力者数	7人	7人
	参加児童数	65人	△46人
	時間数	135分	△135分
合 計	協力者数	53人	47人
	参加児童数	1,576人	639人
	時間数	1,935分	405分

ODET研修会の実施サポート

障がい者の社会参加や多様性に基づいた共生社会

②家庭介護教室（市受託事業）

介護について体験的に学習できる機会を、企画、実施します。

（５）市民生活支援事業（地域における
公益的な取組）

①福祉用具の貸出

緊急かつ一時的に（最長 6 ヶ月まで）車いすやポータブルトイレ等が必要となった場合に貸し出します。

②福祉自動車の貸出

障がい者や難病の人などの外出を支援するため、福祉自動車の車輛を貸し出します。

③印刷機の貸出

の創造を目的として、障がい者自身がファシリテーターとなって進めるワークショップ型の研修として「障害平等研修」（DET）が注目されています。

障がい当事者や、その支援機関、団体と協働してこの研修を促進しました。

- ・心のバリアフリー研修

令和 5 年 2 月 19 日（日） 高萩公民館

②家庭介護教室（市受託事業）

【内容及び実績】

1）認知症、介護保険制度等について

- ・期 日 ①令和 4 年10月17日（月）
②令和 4 年11月 2 日（水）
- ・参加者 ① 8 人、②11人
- ・講 師 ①高麗地域包括支援センター
②高萩地域包括支援センター
- ・会 場 ①武蔵台公民館、②高萩北公民館

2）介助方法の講話と体験

- ・期 日 ①令和 4 年10月27日（木）
②令和 4 年11月 9 日（水）
- ・参加者 ① 8 人、② 9 人
- ・講 師 友結会 ふるさとけあ
- ・会 場 ①武蔵台公民館、②高萩北公民館

（５）市民生活支援事業（地域における公益的取組）

①福祉用具の貸出

内訳	令和 4 年度	前年比
福祉用具の貸出	5 2 件	2 6 件

②福祉自動車等の貸出（再掲）

緊急一時的に福祉自動車（車いすスロープ付き軽自動車）を必要とする人に貸出を行いました。

また、コミュニティ活動やボランティア活動の支援のため、所有車両の貸出を行いました。

内訳	令和 4 年度	前年比
福祉自動車の貸出	6 3 件	3 6 件
その他車両の貸出	1 2 件	1 1 件

③印刷機の貸出（再掲）

市内のボランティア団体等に印刷機の貸出を 45 件行いました。

(6) 法人としての社会貢献活動、新たなニーズへの対応

①彩の国あんしんセーフティネット事業への協力

制度の狭間にある生活問題へ対応するため、社会貢献活動費を拠出して取組に協力します。

②自閉症・発達障がい啓発事業への協賛及び実行委員会への参加協力

(6) 法人としての社会貢献活動、新たなニーズへの対応

①彩の国あんしんセーフティネット事業への協力

生活困窮者自立相談支援事業の受託と併せ、生活困窮者支援体制の充実を図るため、社会貢献活動費を拠出し、現物給付等の支援を実施しました。

【支援件数】

支援の区分・件数		給付金額等
食糧支援	1件	43,177円
光熱水費	1件	14,786円
交通費	2件	1,484円
燃料費	1件	5,898円
消耗品	1件	9,344円

②自閉症・発達障がい啓発事業への協賛及び実行委員会への参加協力

ライトイットアップブルーin 日高実行委員会に参加し、自閉症・発達障がい啓発のための展示や総合福祉センター正面玄関のライトアップなどに協力しました。

○総合福祉センターライトアップの実施

令和4年4月1日(金) 午後5時から7時30分

【成果と課題】

増加する福祉教育や家庭介護教室への需要に対し、ボランティア協力者等からの協力をいただき、実施回数を増やして実施しました。加えて、コロナ禍において徐々に再開しつつある地域活動に対し、運営支援や助成金等様々な形で支援を継続しました。

一方で、地域における個別支援と地域づくりを総合的に推進する役割を担うCSWを各エリアに安定的に配置できず、期待に応えられていない状況です。今後、配置に向けた体制整備や人材の育成支援への対応が必要です。

3 ボランティアセンター活動事業		担 当	地域福祉課地域福祉担当																		
令和4年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題																			
(1) ボランティア・市民活動支援センター運営事業		(1) ボランティア・市民活動支援センター運営事業																			
①ボランティアコーディネーターの設置		①ボランティアコーディネーターの設置																			
ボランティア活動に関する相談に応じ、必要な連絡調整を行うため、ボランティアコーディネーターを設置します。		ボランティアコーディネーター（1名）を設置し、ボランティア・市民活動支援センターの運営の補助を行いました。																			
②ボランティア活動相談		②ボランティア活動相談																			
ボランティアサポーターズクラブと協働による相談窓口を開設します。		ボランティアサポーターズクラブとの話し合いを進め、新たにボランティア活動を希望する人や、ボランティア活動実践者の相談等に応じる窓口「日高市ボランティア・市民活動支援センター」を設置しました。																			
③ボランティア登録・保険加入事務		③ボランティア登録・保険加入支援																			
ボランティアへ必要な情報を提供するとともに、活動への安心感を高めるため保険加入手続を行います。		【ボランティア登録状況】																			
		<table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>令和4年度</th><th>前年比</th></tr><tr><td rowspan="2">個人</td><td>一 般</td><td>34人</td><td>10人</td></tr><tr><td>災 害</td><td>6人</td><td>4人</td></tr><tr><td rowspan="2">団体</td><td>登録数</td><td>108団体</td><td>10団体</td></tr><tr><td>人 数</td><td>2,625人</td><td>401人</td></tr></table>		区 分		令和4年度	前年比	個人	一 般	34人	10人	災 害	6人	4人	団体	登録数	108団体	10団体	人 数	2,625人	401人
区 分		令和4年度	前年比																		
個人	一 般	34人	10人																		
	災 害	6人	4人																		
団体	登録数	108団体	10団体																		
	人 数	2,625人	401人																		
④ボランティア活動支援		④ボランティア活動支援																			
ア 運転ボランティア活動支援		ア 運転ボランティア活動支援																			
		進行性難病の当事者の会と、介護者の会の活動を支援し、所属するかたの社会参加を図るため、運転ボランティアを紹介しました。																			
		【運転ボランティア活動実績】																			
		<table><tr><th>区分</th><th>令和4年度</th><th>前年比</th></tr><tr><td>活動件数</td><td>8件</td><td>4件</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>17人</td><td>8人</td></tr><tr><td>活動者数</td><td>8人</td><td>4人</td></tr></table>		区分	令和4年度	前年比	活動件数	8件	4件	利用者数	17人	8人	活動者数	8人	4人						
区分	令和4年度	前年比																			
活動件数	8件	4件																			
利用者数	17人	8人																			
活動者数	8人	4人																			
イ 保育ボランティア活動支援		イ 保育ボランティア活動支援																			
		子育て中の人ボランティア活動などの社会活動に積極的に参加する機会を図るため、保育サポーターグループ「ひだまりっ子」の活動支援を行いました。																			
		・令和4年6月16日(木) 高萩小PTA																			

ウ 点字用具の整備
エ 声のおたより活動の支援
オ ガイドヘルプボランティア活動支援
カ 傾聴ボランティア活動支援

キ 地域食堂（子ども食堂）支援

⑤機材・レクリエーション用具の貸出

（２）ボランティア体験学習事業

ボランティア活動への参加を促進するとともに、講座等の実施により人材を育成します。（一部埼玉県社協補助事業）

①彩の国ボランティア体験プログラムの実施

ボランティア活動への参加の機会を提供し、ボランティアの育成に努めます。また、コロナ禍においても参加できるように取組を進めます。

- ・令和４年１０月２５日（火） 子育て総合支援センター
- ・令和５年１月２４日（火） 高萩小ＰＴＡ

ウ・エ・オ

点字用具の整備及び声のおたより活動、ガイドヘルプボランティア派遣等を通じて、視覚障がいのある人への支援を促進しました。

カ 傾聴ボランティア活動支援

施設とボランティアをオンラインでつなぎ、入所されている人への傾聴活動を支援しました。

キ 地域食堂（子ども食堂）支援

活動団体の情報交換のため交流会、安全に活動できるように衛生講習会を実施。フードパントリー申込者に対し、団体合同でのお弁当作りを支援しました。

ク 朗読ボランティア活動支援

特別支援学校とボランティアをオンラインでつなぎ、児童への読み聞かせの活動を支援しました。

⑤機材・レクリエーション用具の貸出

ボランティア団体等が研修等を実施する際に、プロジェクターや音響機器の貸出を行いました。

また、障がい者施設が利用者の体力・健康維持を目的として実施するスポーツプログラムに、レクリエーション用具の貸出を行いました。

（２）ボランティア体験学習事業

①彩の国ボランティア体験プログラムの実施

ボランティア活動への参加のきっかけとするため、夏休みにボランティア体験の機会を提供しました。

【彩の国ボランティア体験プログラムの実績】

区分	令和４年度	前年比
体験プログラム数	１３メニュー	△１メニュー
活動参加者数（延べ人数）	１７２人	７３人
※うち学生参加者数	１５１人	６９人

②ボランティア講座の開催

ボランティア団体と協力してボランティア講座を開催し、その育成に努めます。

ア 手話奉仕員養成講習会（市受託事業）

イ 朗読ボランティア養成講習会

ウ ボランティアのスキルアップを目的とした講座

（３）シニアの社会参加促進・ボランティア活動支援事業

①ボランティアサポーターズクラブの設置及び運営

ボランティア・市民活動への参加を促進し、市民参加による協働のまちづくりを図るため、ボランティアサポーターズクラブを設置し運営支援を行います。

②日高ボランティアネットの運営

ボランティア活動のきっかけづくりのため、内容の充実を図ります。

②ボランティア講座の開催

ア 手話奉仕員養成講習会（市受託事業）

手話の技術を取得し聴覚障がい者を支援する手話奉仕員を養成するため、入門課程を開催しました。

- ・開催期間 令和４年10月４日（火）
～令和５年２月28日（火）※全20回

- ・会場 総合福祉センター
- ・講師 森田登氏
- ・アシスタント 日高市手話サークル「あくしゅ」
- ・受講者 ７人

イ 朗読ボランティア養成講習会

実施しませんでした。

ウ ボランティアのスキルアップを目的とした講座

- ・実施しませんでした。

エ ガイドヘルプボランティア養成講習会

- ・期間 令和４年11月11日（金）、11月18日（金）
- ・会場 総合福祉センター、高麗川駅、東飯能駅等
- ・講師 塙保己一学園 波田野圭子氏、寺田健太郎氏
- ・受講者 ７人

（３）シニアの社会参加促進・ボランティア活動支援事業

①ボランティアサポーターズクラブの配置及び運営

- ・ボランティアサポーターの委嘱 16人
- ※前年比＋２人

②日高ボランティアネットの運営

ボランティア情報の発信やマッチングを目的としたサイトの運営を行いました。更なる活用に向けて、システムの改善やボランティアサポーターとの協働

(4) 災害ボランティアに関する活動支援 ①災害ボランティアセンター訓練 運営マニュアルの改訂を行い、実際の場面を想定した訓練(職員対象)を実施します。 ②災害時の職員派遣 他地域での災害時に、埼玉県社会福祉協議会等の要請に応じて職員を現地に派遣します。 (5) ボランティア活動等支援事業補助金の交付(市補助事業) ボランティア団体が行うボランティア活動等を支援するため、その活動に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付します。	を進めます。 (4) 災害ボランティアに関する活動支援 ①災害ボランティアセンター訓練 運営マニュアルの改訂には至りませんでした。組織体制や市防災計画などと連動して内容の見直しを進める必要があります。 ②災害時の職員派遣 ・派遣はありませんでした。 ③災害時における職員安否確認訓練 災害発生により、職員の安否の把握を目的として、SNSを使った確認訓練を実施しました。 令和4年8月28日(日) ※市防災訓練と同時 (5) ボランティア活動等支援事業補助金の交付(市補助事業) ボランティア団体による地域活性化や地域課題の解決に向けた各種取組に対して助成を行いました。 ○決定団体数: 19団体 ○確定額 1,000,000円 ○内訳(交付決定団体及び金額) ①日高おもちゃドクターの会(20,000円) ②旭ヶ丘ハッピータウン(40,000円) ③日高市ガイドヘルプ「あい」(85,000円) ④小さな野草苑の会(45,000円) ⑤こま武蔵台福祉ネット(20,000円) ⑥やまなみ食堂実行委員会(95,000円) ⑦よつばのクローバー(18,000円) ⑧地域食堂ちゃぶ台(95,000円) ⑨高麗ねこ家(100,000円) ⑩日高ガイド(95,000円) ⑪ひだか憩いの森サポートクラブ(50,000円) ⑫快サークル コロネット(50,000円) ⑬鹿山の森を守る会(19,000円) ⑭日高・みどりの会(36,000円) ⑮朗読ボランティアグループ日高もくせいの会(41,000円) ⑯日高まちづくり研究所(95,000円) ⑰日高くるくるねっと(21,000円)
--	---

⑱昭和橋環境保全の会(17,000円)

⑲宮前おたすけクラブ(58,000円)

【成果と課題】

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、対面での活動が難しいとされる時期が続いたなかで、状況に合わせ、対面やオンラインを活用したボランティア活動への支援や集合型のボランティア養成講習を実施しました。ボランティア体験学習事業の実施においても、福祉施設等でのプログラムを再開することができ、より多くの市民がボランティア活動に参加できる機会を提供することができました。

また、地域食堂（子ども食堂）の支援については、新しい取り組みとして団体合同でのお弁当作りを支援し、これまでにない形でのボランティア活動の機会を設けることができました。

今後の課題として、ボランティアネットのシステム改善やボランティアサポーターと協働し機能的なボランティア・市民活動支援センターの運営に向けた対応に取り組むことで、より有効に情報を発信、交換できる仕組みを強化する必要があります。

4 共同募金配分金事業	担 当	地域福祉課、相談支援課
令和4年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
(1) 一般募金配分金事業 赤い羽根募金をもとに、次の事業を展開します。 ①福祉スポーツ大会 障がい者がスポーツを通じて健康増進を図るための取組を進めます。 ②児童遊園地遊具の整備 児童遊園地を点検し、必要な整備を行います。 ③訪問カットサービス ④暮らしの安心相談事業 市民に身近な相談窓口を開設します。 ア 心配ごと相談 イ 無料法律相談 ウ 成年後見制度に関する相談	(1) 一般募金配分金事業 赤い羽根募金をもとに、次の事業を実施しました。 ①福祉スポーツ大会 代替企画:障がい者スポーツプログラム 2022 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を取りやめてきた福祉スポーツ大会や、あいあいまつりの代替として、障害のある人のスポーツを通じた健康増進と交流を図ることを目的とした障がい者スポーツプログラム2022を開催しました。 ・実施日 令和4年12月3日(土) ・会 場 市総合福祉センター ・参加者数 参加団体 4団体 75人 協力団体 3団体 16人 中学生ボランティア 10人 ②児童遊園地遊具の整備 施設賠償責任保険の加入を行いました。 専門点検や管理者の要請に基づく撤去等は実施しませんでした。 ③訪問カットサービス ・利用回数 29回 ・協力店舗数 9店(理容2店、美容7店) ④暮らしの安心相談事業(相談支援課) ア 心配ごと相談 市民の日常生活における悩みや心配ごとに対する相談を22回実施し、19件の相談がありました。 コロナウイルス感染症の影響による相談者の減少が続いています。 イ 無料法律相談 市民が抱えている諸問題の解決の糸口とすることを目的とした弁護士による無料法律相談を12回実施し、43件の相談がありました。前年の28件から比べると15件増加しています。 ウ 成年後見制度に関する相談 成年後見制度の概要説明、利用に関する相談及び	

⑤成年後見支援に関するありかた
検討会議の開催

⑥福祉広報事業

ア ホームページの運営

イ 社協だより「ひだまり」発行

歳末たすけあい募金配分金事業

①おせち料理の宅配

②民生委員調査連絡活動・見守り活
動への助成

③地域づくりの支援

ア 地域活動拠点の整備（武蔵
台、たかね）

イ サロン活動の支援

ウ 地域食堂（子ども食堂）開催
支援

関連する制度等の相談など 10 回実施し、14 件の相
談がありました。

⑤成年後見支援に関するありかた検討会議の開催
検討会議の実施には至りませんでした。
体制構築に向けた会議に参加しました。

○家事関係機関との連絡協議会

令和 5 年 2 月 15 日（水）さいたま家庭裁判所

⑥福祉広報事業

ア ホームページの運営

イ 社協だより「ひだまり」発行（年 3 回発行）

歳末たすけあい募金配分金事業

①おせち料理の宅配

見守りを必要とする単身高齢者等を対象に、民生委員
からの申請によりおせち料理を宅配し、見守りを進めま
した。

（実施日）令和 4 年 12 月 28 日（水）

【配分実績】

区 分	令和 4 年度	前年比
配分件数	100 件	3 件

②民生委員調査連絡活動・見守り活動への助成

日高市民生委員・児童委員協議会に依頼して実施する
各種調査活動と、見守り活動に対して助成しました。

③地域づくりの支援

ア 地域活動拠点の整備（武蔵台、たかね）

世代や属性を超えて交流できる場や居場所の確
保が進むよう、地域づくり事業の下地としてモデル
地域内の地域活動拠点の整備や充実のため、助成を
実施しました。

イ サロン活動の支援

身近な地域での居場所づくりを進めるため、サロ
ン活動の運営を支援しました。

【登録活動一覧】 別表参照

ウ 地域食堂（子ども食堂）開催支援

活動団体の情報交換のため交流会、安全に活動で
きるように衛生講習会を実施しました。フードパン
トリー申込者に対し団体合同でお弁当を作り支援
しました。

エ 地域おたすけ隊の支援

エ 地域おたすけ隊の支援

住民相互の有償によるサービス提供を図るため、地域おたすけ隊の設置及び運営を地区ボランティア等に委託して実施しました。また、活動者に安心して支援に参加していただくため、移送支援者講習会参加者に対し受講料を補助しました。

【運営委託先】（委託による事業開始年月日）

- ・こま武蔵台福祉ネット（平成23年1月31日）
- ・日高団地自治会（平成23年1月31日）
- ・たかね地域おたすけ隊（平成25年10月1日）
- ・原宿地域おたすけ隊（平成29年10月1日）
- ・高麗地域おたすけ隊（令和4年1月4日）

【活動実績】

区 分	令和4年度	対前年比
利用件数	3,317件	661件
利用時間数	4,198.5時間	614.5時間
※運転付添時間	2,962.5時間	713.5時間
利用者登録数	814人	11人
ボランティア数	157人	1人
地域支え合い協力店舗	140店舗	8店舗

オ 地域支え合い協力店の支援

オ 地域支え合い協力店の支援

地域支え合い協力店で使用する地域商品券を発行しました。

④日高市社会福祉大会

④日高市社会福祉大会

市の社会福祉の発展に功績のあった人を表彰し、市内福祉関係者相互の連携と地域福祉活動の更なる普及を図るために第36回日高市社会福祉大会を開催しました。

- ・期日 令和4年11月23日（水・祝）
- ・会場 市総合福祉センター
- ・表彰

市社会福祉協議会会長表彰 12人

市社会福祉協議会会長感謝状 3団体、2人

県共同募金会日高市支会会長感謝状 1人

【その他の顕彰】

（令和4年度埼玉県社会福祉大会）

- ・期日 令和4年11月2日（水）
- ・会場 埼玉会館（さいたま市）

⑤日高市地域福祉フォーラム ⑥あいあいまつり コロナ禍における感染拡大防止に向けた対応や、参加者支援の観点から新たな取組を進めます。	・表彰 埼玉県社会福祉大会会長表彰 14人 ⑤日高市地域福祉フォーラム 実施しませんでした。 ⑥あいあいまつり 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を取りやめてきた福祉スポーツ大会やあいあいまつりの代替事業として、障害のある人のスポーツを通じた健康増進と交流を図ることを目的とした障がい者スポーツプログラム2022を開催しました。 【成果と課題】 相談事業においては、心配ごと相談、成年後見制度相談、無料法律相談の3種類の相談事業について、年間を通じて実施することができ、地域住民の様々な相談に対応する体制を整備することができました。 また、障がい者スポーツプログラム2022やおせち宅配事業、地域食堂協力団体の合同によるフードパントリーでのお弁当作り等を実施し、感染防止対策を講じつつ関係機関と連携し、啓発や支援を目的とした事業を実施しました。
---	---

【別表】サロン登録活動一覧

	団 体 名(登録順)	主な対象	実施場所
1	こま武蔵台福祉ネット(地域交流広場)	高齢者	武蔵台小学校区地域交流広場
2	こま武蔵台福祉ネット(ふれあいサロン)		武蔵台ふれあいサロン
3	チャットルーム(精神保健福祉ボランティア)	障がい	市総合福祉センター
4	ふれあいサービスさくら会	高齢者	高萩団地自治会館
5	ひまわり会	高齢者	鹿山上区公会堂
6	おしゃべりサロン協力会	高齢者	日高団地自治会館
7	ちょこっとランチ・トマト会	高齢者	市総合福祉センター
8	ふれあい会	高齢者	日高団地ふれあい館
9	ニコニコひろば	子育て支援	横手台自治会館
10	ひだか子育てネットワーク	子育て支援	市立保健相談センター
11	高萩団地なかよしサロン協力会	高齢者	高萩団地自治会館
12	宮前サロンいこい	高齢者	宮前公会堂
13	サロン ひなた	高齢者	日向自治会館
14	台交流サロン	高齢者	台自治会館
15	地域食堂 ちゃぶ台	複合	高麗公民館ほか
16	ぷーちゃんち。	複合	自宅開放
17	ホッとスペース aloha	子ども	市内公民館
18	たかね地区サロン協力会	複合	たかねサロン
19	ひつじの会	高齢者	市総合福祉センター
20	宮前おたすけクラブ	複合	市内全域(依頼場所)
21	NPO 法人げんきネット武蔵台	まちづくり	武蔵台ショッピングセンター
22	日高こども食堂	複合	店舗利用
23	旭ヶ丘ハッピータウン	まちづくり	旭ヶ丘公会堂
24	やまなみ食堂	子ども	武蔵台公民館ほか
25	サロンオリーブ	サロン	カフェバロン
26	天使ママサロン 桜のバトン	母親支援	オンライン
27	日高ママサロン	子ども	市総合福祉センター

5 生活福祉資金貸付事業		担 当	相談支援課	
令和4年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題		
他の機関からの借り入れが困難な低所得世帯等への資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように実施します。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入減収で生活維持困難な世帯に対しての対応を継続します。		埼玉県社会福祉協議会からの委託により、生活福祉資金の貸付に関する相談援助を行いました。		
①生活福祉資金（福祉資金、緊急小口資金、教育支援資金）		【内容及び実績】		
②総合支援資金		福祉資金・教育支援資金		2 件
③不動産担保型生活資金		緊急小口資金		0 件
④要保護世帯向け不動産担保型生活資金		総合支援資金		0 件
⑤臨時特例つなぎ資金		不動産担保型生活資金		0 件
⑥特例貸付対象者の自立支援		要保護世帯向け不動産担保型生活資金		
		臨時特例つなぎ資金		0 件
		特例貸付 緊急小口資金		2 7 件
		特例貸付 総合支援資金		2 9 件
		【成果と課題】		
		令和2年3月から申請受付が開始した新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収した世帯への特例貸付は、申請期間の延長が繰り返され、令和4年9月で終了となりました。この間、緊急小口資金の決定件数が306件、総合支援資金（初回・延長）が252件、総合支援資金再貸付が154件となり、当会での貸付金額は累計3億円を超えました。令和5年1月から貸付金の償還が開始となりましたが、償還が困難な世帯からの相談が増えています。		
		本則の貸付については、特例貸付で社協の生活福祉資金が周知された影響もあり、昨年度新規相談9件に対し、今年度は37件と急増しました。しかし要件が緩和されていた特例貸付に比べると申請決定に至った件数は2件でした。		
		今後も引き続き、特例貸付終了後の生活困窮者に向け、自立相談支援センターと連携しながら自立支援、家計改善、就労支援に努めていきます。		

6 福祉資金貸付事業	担 当	相談支援課
令和4年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
低所得世帯が、臨時の出費又は収入欠如等の恐れがあるため、生活維持が困難となった場合に、その応急的支援によって生活の安定と自立を助け、住民福祉の向上を図ります。	新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付への貸付や償還に関する相談が一定件数あり、償還指導を行うことができませんでした。貸付実績は0件です。	
	【内容及び実績】	
	貸付件数	0件
	貸付金額	0円
	当年度償還済み額	0円
	当年度未償還額	0円
	(福祉資金貸付現況)	
	福祉資金元金現額 ＝ (1) ＋ (2)	1, 197, 594円
	(1) 預金保有額 ※当年度延滞利子収入	808, 594円 0円
	(2) 貸付現額	389, 000円
年度別の内訳額	平成17年度 1件	45, 000円
	平成18年度 3件	90, 000円
	平成19年度 2件	89, 000円
	平成20年度 1件	30, 000円
	平成21年度 1件	22, 000円
	平成22年度 2件	10, 000円
	平成23年度 1件	18, 000円
	平成24年度 0件	0円
	平成25年度 0件	0円
	平成26年度 0件	0円
	令和元年度 0件	0円
	令和2年度 1件	35, 000円
	令和3年度 1件	50, 000円
	令和4年度 0件	0円
【成果と課題】		特例貸付の希望者が多かったため、申請はありませんでしたが、今後は相談増も予測されるため、より柔軟な対応に努めます。

7 福祉サービス利用援助事業		担 当	地域福祉課地域福祉担当			
令和4年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題				
認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力が十分でない人が、地域で自立した生活を安心して送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供や暮らしに必要なお金の出し入れなどの援助を行います。		埼玉県社会福祉協議会からの委託により、判断能力が不十分なことにより、自己決定が困難となった高齢者、知的障がい者、精神障がい者が安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理の生活支援を行いました。				
・基本事業 福祉サービスの利用援助		(内容及び実績)		令和5年3月31日現在		
・選択事業 日常生活上の手続き援助		相談援助件数		812 件		
日常的金銭管理		区分	高齢	精神	知的	計
書類等預かりサービス		新規契約件数	3	2	0	5
		解約件数	2	1	0	3
		契約件数	5	3	4	12
		【成果と課題】				
		定期的な支援計画の評価を実施し、適正に事務を行いました。				
		今後、増加傾向にある新たな契約の希望への対応と、現在の契約者の判断能力の低下に合わせた支援の見直し（成年後見制度への移行等）を進めていく必要があります。				

8 障がい者相談支援事業		担 当	相談支援課																																			
令和4年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題																																				
1 障がい者計画相談事業 障がい福祉サービスを希望する人に、課題の解決や適切なサービス利用に向けて、障がい者相談支援センター「ぷらむ」が支援します。 ①サービス利用支援 ②継続サービス利用支援		1 障がい者計画相談事業 障がい福祉サービス等を希望する人に、サービス等利用計画についての相談及び作成等の支援が必要な場合に、障がい者の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントにより、支援を行いました。 【内容及び実績】 <table><tr><td>契約件数</td><td colspan="5">99 件</td></tr><tr><td>区分</td><td>身体</td><td>知的</td><td>精神</td><td>他</td><td>計</td></tr><tr><td>計画相談</td><td>1</td><td>19</td><td>18</td><td>0</td><td>38</td></tr><tr><td>相談支援</td><td>6</td><td>20</td><td>29</td><td>5</td><td>60</td></tr><tr><td>連携</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td></tr></table>							契約件数	99 件					区分	身体	知的	精神	他	計	計画相談	1	19	18	0	38	相談支援	6	20	29	5	60	連携	1	0	1	0	2
契約件数	99 件																																					
区分	身体	知的	精神	他	計																																	
計画相談	1	19	18	0	38																																	
相談支援	6	20	29	5	60																																	
連携	1	0	1	0	2																																	
2 障がい者相談支援事業（市受託事業） 障がい者の福祉に関する様々な問題について、相談に応じ、必要な情報提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行います。		2 障がい者相談支援事業（市受託事業） 日高市からの委託により、障がい者の福祉に関する様々な問題について、相談に応じ、必要な情報の提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行いました。 【成果と課題】 計画相談支援事業については、必要時、計画作成、モニタリングを実施する事ができました。 相談支援事業については、他機関との連携を図りながら必要な支援の情報提供や課題の解決に取り組む事ができました。市内の相談支援事業所が廃止となり、計画相談依頼件数が増えました。今後、新規に開所予定の事業所と適時、連携を図り支援に努めます。																																				

社会福祉事業

Ⅱ ヘルパーステーション

1 訪問介護等事業

担 当

生活援助課

令和4年度事業計画・概要

事業実施結果・成果と課題

(1) 介護保険法によるサービスの実施

①身体介護・生活支援

食事、着替え、入浴介助等の身体介護、調理、洗濯、掃除、買物等の生活援助の支援を行います。

②相談・助言

生活、身上、介護に関する相談及び助言を行います。

(2) 総合事業によるサービスの実施（要支援からの移行）

(3) 研修会、実習生の受け入れの実施

①研修会の実施

サービスの質の向上や介護技術を高めるために、検討会議及び各種研修会を行います。

②実習生の受け入れ

介護福祉士養成のための実習の場を提供します。

(1) 介護保険法によるサービスの実施

介護保険法に基づき、訪問介護計画を作成し、利用者が自宅で安心かつ安全な生活が送れるよう適切な援助を実施しました。特にコロナ禍において、体調管理や感染予防対策を徹底し、サービスを行いました。利用者のニーズとケアマネジメントに沿った質の高いサービスの提供に努めました。また、利用者から相談を受けた際は、ケアマネジャーと連携して利用者の不安を解消できるよう対応しました。

【訪問介護 活動実績】

	利用数／件	訪問数／回	訪問／時間
令和4年度	294	2,339	2,315.05
令和3年度	247	1,759	1,740.66
比較増減	47	580	574.39

【介護予防訪問介護（総合事業） 活動実績】

	利用数／件	訪問数／回	訪問／時間
令和4年度	292	1,466	1,466.00
令和3年度	382	1,922	1,922.00
比較増減	△90	△456	△456.00

(3) 研修会、実習生の受け入れの実施

①研修会の実施

- ・認知症介護基礎研修
- ・感染症介護基礎研修
- ・虐待、身体拘束研修

②実習生の受け入れ

今年度は受け入れがありませんでした。

【成果と課題】

コロナ禍において、要支援者に対する訪問介護件数が減少しました。

感染予防対策を徹底しつつ、新規の利用者を支援できる体制を整えました。

2 障がい福祉サービス事業		担 当	生活援助課																																																
令和4年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題																																																	
(1) 障害者総合支援法によるサービスの実施 ①居宅介護 知的・身体・精神の障がいがあるかた、難病疾患があるかたへの身体介護及び家事援助の支援を行います。生活する中での相談助言を行います。 ②重度訪問介護 日常生活全般に常時支援を要する、脳性まひ等全身性障がいがあるかたへの日常生活支援を行います。 ③同行援護 屋外での移動に制限のある視覚障がいがあるかたへの移動介護を行います。 ④移動支援(地域生活支援事業) 屋外での移動に制限のある全身性障がい及び知的障がいがあるかたへの移動介護を行います。 (2) 養育支援訪問事業(市受託事業) 家事及び養育の支援が必要な家庭へ、市の要請に基づきホームヘルパーの派遣を行います。 (3) 委員会の設置 虐待防止のための委員会を設置します。		(1) 障害者総合支援法によるサービスの実施 在宅生活の維持継続と利用者が自宅において自立した生活が送れることを念頭に居宅計画を作成し、計画に沿ったサービス提供を行いました。また、後半にはコロナ禍において、制限がある中でも感染予防対策を徹底し、可能な範囲で家に閉じこもることなく、健康増進のため等、一人での外出の困難な障がい者への、外出支援を行いました。 【居宅介護・重度訪問介護・同行援護活動実績】 <table> <tr> <th>年度</th><th>利用数/件</th><th>訪問数/回</th><th>訪問/時間</th></tr> <tr> <td>令和4年度</td><td>123</td><td>527</td><td>859.75</td></tr> <tr> <td>令和3年度</td><td>126</td><td>835</td><td>1,142.00</td></tr> <tr> <td>比較増減</td><td>△3</td><td>△308</td><td>△282.25</td></tr> </table> 【移動支援活動実績】 <table> <tr> <th>年度</th><th>利用数/件</th><th>訪問数/回</th><th>訪問/時間</th></tr> <tr> <td>令和4年度</td><td>35</td><td>56</td><td>219.00</td></tr> <tr> <td>令和3年度</td><td>32</td><td>56</td><td>227.00</td></tr> <tr> <td>比較増減</td><td>3</td><td>0</td><td>△8</td></tr> </table> (2) 養育支援訪問事業(市受託事業) 【養育支援活動実績】 <table> <tr> <th>年度</th><th>利用数/件</th><th>訪問数/回</th><th>訪問/時間</th></tr> <tr> <td>令和4年度</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>令和3年度</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td></tr> <tr> <td>比較増減</td><td>△1</td><td>△2</td><td>△4</td></tr> </table> (3) 委員会の設置 虐待防止のための委員会を開催しました。 【成果と課題】 感染予防対策を徹底しつつ、外出先での移動支援を実施しました。		年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間	令和4年度	123	527	859.75	令和3年度	126	835	1,142.00	比較増減	△3	△308	△282.25	年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間	令和4年度	35	56	219.00	令和3年度	32	56	227.00	比較増減	3	0	△8	年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間	令和4年度	0	0	0	令和3年度	1	2	4	比較増減	△1	△2	△4
年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間																																																
令和4年度	123	527	859.75																																																
令和3年度	126	835	1,142.00																																																
比較増減	△3	△308	△282.25																																																
年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間																																																
令和4年度	35	56	219.00																																																
令和3年度	32	56	227.00																																																
比較増減	3	0	△8																																																
年度	利用数/件	訪問数/回	訪問/時間																																																
令和4年度	0	0	0																																																
令和3年度	1	2	4																																																
比較増減	△1	△2	△4																																																

社会福祉事業		
Ⅲ 総合福祉センター管理・経営事業		【指定管理事業】
1 総合福祉センター	担 当	地域福祉課
令和4年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
①会議室等の貸出・調整業務 会議室等の貸出及び利用に際し、適切に手続きを行います。 ②建物・施設の維持管理 建物及び施設の維持管理、保守点検、修繕、清掃などを適切に実施し、安全意識を持った管理運営を行います。 ③職員の研修 緊急時の適切な対応を目的として研修の充実を図ります。 ア 消防訓練の実施 災害を想定し、年2回の消防訓練を実施します。 イ 普通救命講習の実施 職員の資質向上及び緊急時に適切な対応ができるよう、普通救命講習を行います。 ④自主事業の充実 サービスの質の向上を図ることを目的として、指定管理者として取り組む自主事業の充実を図ります。 ア 利用者アンケートの実施 来館者の要望を把握し、サービスに反映させるため、アンケートを実施します。 イ 情報提供の充実 センターでの催事や取組について、積極的に情報提供を行い、利用者の拡大を図ります。	①会議室等の貸出・調整業務 会議室等の貸出業務を適正に行うとともに、明るい窓口対応や快適で安全に利用いただくことを心掛けました。 貸室等のサービスについては、定員及び時間の制限などを令和4年6月1日から解除しました。 また、マスクの着用については、令和5年3月13日から一律の着用をお願いすることから、推奨するところとなりました。 ※ 利用実績については、部屋別利用実績(別表1)、浴室利用実績(別表2)参照 ②建物・施設の維持管理 安定的な運営を確保するため、市が作成した公共施設点検マニュアルにもとづいた日常及び定期的保守点検を確実に行うことで異常の早期の発見に努めるとともに、速やかに修繕等を実施しました。 ③職員の研修 ア 消防訓練の実施 消防計画に基づき、避難誘導・救護・消火等の総合的な訓練を2回実施しました。 イ 普通救命講習の実施 普通救命講習は実施を見送りました。 ④自主事業の充実 ア 利用者アンケートの実施 実施期間 令和4年11月1日～30日 イ 情報提供の充実 館内での情報コーナーを運営し、来館者へ行事や生活に関する情報を提供しました。 【成果と課題】 これまでの対応を踏まえ、感染拡大防止を図りながら、安心して利用できる施設運営と、来館者の健康増進を図る取組の充実を進めます。	

(別表1) 部屋別利用実績

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修室	1,144	968	1,055	2,005	1,768	1,299	1,586	1,082	1,364	1,259	953	1,666
大広間	36	36	41	49	61	43	30	32	30	53	20	38
教養娯楽室	267	234	291	272	209	301	388	382	269	185	212	247
調理実習室	18	4	58	16	0	13	52	25	55	20	69	5
生涯学習室	710	660	665	593	291	752	676	861	639	568	611	546
余暇活動室	404	375	415	438	350	443	455	435	401	358	388	412
会議室A	153	146	157	203	182	216	177	188	198	155	184	197
会議室B	0	0	93	139	148	150	140	180	126	146	132	162
会議室C	276	309	310	268	263	297	306	276	277	282	247	273
エントランス	249	100	95	109	66	85	369	390	145	71	71	84
グラウンド	366	251	251	285	374	227	349	282	381	447	190	358
合 計	3,623	3,083	3,431	4,377	3,712	3,826	4,528	4,133	3,885	3,544	3,077	3,988
前年度比	386	246	373	1,144	1,123	320	99	194	△ 49	513	278	△ 180

(別表2) 浴室利用実績

単位

	広域内		広域外	人数計	前年度比
	100円	200円	600円		
4月	2,862	211	6	3,079	1,269
5月	2,871	237	10	3,118	1,256
6月	2,755	248	7	3,010	1,192
7月	2,729	219	5	2,953	1,176
8月	2,680	194	6	2,880	949
9月	2,601	231	11	2,843	964
10月	2,905	276	8	3,189	1,283
11月	2,957	227	2	3,186	601
12月	2,830	256	5	3,091	481
1月	2,977	234	3	3,214	452
2月	3,073	251	16	3,340	352
3月	3,262	294	13	3,569	374
合計	34,502	2,878	92	37,472	10,349
前年度比	9,158	1,120	71	10,349	
月平均	2,875	240	8	3,123	

9月に実施していた65歳以上の方を対象とした老人週間は、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、中止としました。

社会福祉事業

Ⅳ こまのさと作業所

1 こまのさと作業所

担 当

生活援助課

令和4年度事業計画・概要

事業実施結果・成果と課題

障害者総合支援法に基づき、利用者に就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行います。また、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者及び家族の意向、適性・障がいの特性、その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、利用者に対して適切かつ効果的な日中活動サービスを実施します。

対 象 者：身体障がい者、知的障がい者（18歳以上）
開 所 日：月曜日～金曜日（祝日を除く）
開所時間：午前9時30分～午後4時
開所日数：239日
利用者数：25名（男17名、女8名）
年間延べ4,701人 1日平均19.7人
利用率98.3%

（1）就労支援事業の実施

障がいがあってもその人らしく誇りややりがいを持って、安心して快適に就労するための支援を行います。

①企業からの請負作業

- ア ギフト商品に関する作業
- イ 金属ボルトの計数・結束作業
- ウ ガスメーターの組立作業
- エ 紙袋の底板入れ・タグ付作業
- オ 種の袋入れ作業
- カ 学習シール等の組み立て作業
- キ 商品券の箱折り
- ク 施設外就労

②自主製品製造販売事業

- ア 古紙リサイクル植木鉢
- イ 廃油リサイクル石けん
- ウ その他工芸品

③その他

（1）就労支援事業の実施

①請負作業

- ア (株)サンシャイン企画（日高市）
 - イ (株)アムハード小西（日高市）
 - ウ (株)クリエイト電子（鶴ヶ島市）
 - エ (有)福栄商産（狹山市）なし
 - オ (有)プラスワン（坂戸市）
 - カ (株)新生化工（日高市）
 - キ (福)むさしの日高作業所（日高市）
- 令和4年度請負作業収入 3,262,884円
（前年度比 179,001円）

②自主製品製造販売事業

（主な常設販売スペース）

- ・市総合福祉センター
- ・農協日高中央直売所
- ・朝採れファーム高麗郷
- ・その他

（注文、出店販売、その他）

令和4年度自主製品事業収入 215,787円
（前年度比 20,212円）

③その他

ア 郵便切手類の販売 イ 洗車 ④一般就労に向けた支援 ア 職場実習 イ 求職活動支援 (2) その他 地域社会との交流を深め、関係機関との連携を図り、地域の中で社会の一員として意欲と生き甲斐を持って生活するための支援を行います。 ①身辺処理・日常生活能力向上のための取り組み ②社会生活能力向上のためのプログラムの実施 ③イベント等への参加 ④余暇活動、レクリエーションの実施 ⑤送迎車の運行 希望する利用者の自宅又は指定場所までの送迎を実施することで、利用者の通所時の安全確保と、保護者の負担軽減を図ります。 ⑥介護等体験の受け入れの実施 実習の場を提供します。 (3) 委員会の設置	日高市集団資源回収奨励報奨金 令和4年度資源回収事業収入 63,900 円 (前年度比 2,100 円) ④一般就労に向けた支援 実施なし (2) その他 ①身辺処理・日常生活能力向上のための取り組み ア 着替えや整容、食事や排泄の支援 イ 掃除や洗濯等スキルの向上 ②社会生活能力向上のためのプログラムの実施 ア グループ外出プログラム：中止 イ 日帰りバス旅行：中止 ③地域のイベントへの参加 福祉スポーツ大会：中止 (代替企画：障がい者スポーツプログラム2022参加) あいあいまつり：中止 赤い羽根街頭募金活動：中止 日高市民まつり：中止 ④余暇活動、レクリエーションの実施 令和4年12月27日(火)クリスマス忘年会 ⑤送迎車の運行 コース：高麗、高麗川、高萩コース 運行日数：239 日 利用者：25 人 年延べ利用者：7,607 人(往復) (1日平均15.9人) ⑥介護等体験の受け入れの実施 今年度は受け入れがありませんでした。 (3) 委員会の設置 虐待防止のための委員会を開催しました。
--	--

	【成果と課題】 コロナ禍において、サービスが途切れることなく提供できるように、感染予防対策を徹底しました。地域のイベントの中止などはありませんでしたが、自主製品事業収入や請負作業収入はともに増加しました。 グループごとの外出プログラムも中止となりましたが、お弁当を普段とは違うお店を利用したり、おやつデザートを用意したお楽しみなど、可能な範囲でリフレッシュする機会を作り、利用者の健康増進・モチベーションを維持し、安心・快適な日中活動サービスを実施しました。
--	---

1 ファミリーサポートセンター

担 当

相談支援課

令和4年度事業計画・概要

事業実施結果・成果と課題

(1) ファミリーサポートセンター事業

子育ての援助をしたい人（協力会員）と援助をしてほしい人（利用会員）の双方が会員となり、会員間の援助活動の調整を行うことで、子育て支援を促進するため、日高市ファミリーサポートセンターを運営します。

①会員の募集、登録その他会員組織の運営

②援助活動の調整及びあっ旋

③会員に対して、援助活動に必要な知識を付与するために行う講習会等の開催

④会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会の開催

⑤アドバイザーの配置及びサブリーダーの選任

⑥アドバイザーのスキルアップのための研修会参加

(1) ファミリーサポートセンター事業

①会員の募集、登録その他会員組織の運営

・会員登録の状況

内 訳	令和4年度	前年比
利用会員	198人	22人
協力会員	82人	8人
両方会員	5人	△1人
合 計	285人	29人

②援助活動の調整及びあっ旋（別表1参照）

③協力会員講習会

【協力会員研修（1回目）】

・令和4年 11月21日（月） 参加人数5名

11月28日（月） 参加人数7名

12月5日（月） 中止

※12/5は救命救急講習参加人数が足りなかったため中止としました。

【協力会員研修（2回目）】

・令和5年 1月31日（火） 参加人数5名

2月7日（火） 参加人数5名

2月14日（火） 中止

※2/14は救命救急講習体調不良などキャンセルが多かったため中止としました。

④会員交流会

・令和4年 新型コロナウイルスの影響により中止

・強化月間

市役所子育て応援課前パネル展示（2月1日～28日まで）

⑤アドバイザーの配置及びサブリーダーの選任

未選任。運営体制について検討

⑥アドバイザーのスキルアップのための研修会参加

・子育て支援従事者研修

令和4年9月22日（木）（zoom）

・全国アドバイザー講習会・交流会

令和4年10月28日(金) (zoom)

ファミリーサポートセンターの取組を周知するとともに、会員間の情報交換を目的に発行しました。

(発行日) 第28号 令和4年4月号

第29号 令和4年10月号

第30号 令和5年3月号

(2)産前産後家庭サポート事業

①サポーターの募集・登録その他会員組織の運営
・登録の状況

内 訳	令和4年度	前年比
新規利用者	16人	14人
サポート一	35人	5人
合 計	51人	19人

②援助活動の調整及びあっ旋

・活動時間数 (別表2参照)

活動件数 2 回、利用者実人数 1 人、対応が 1 人実人数 2 人

③サポーターの養成

・サポ一タ一講習会 令和4年11月28日(月)

参加人数5名（協力会員講習会と合同）

【成果と課題】

今年度は、利用補助がポイント制になり（30分1ポイント付与、20ポイントで2,000円相当分の地域商品券と交換）、ひとり親家庭等該当する場合にはさらに半額で利用できるようになりました。

また、協力会員講習会 24 時間を開催することができ協力会員確保につなげることができました。

ファミサポ強化月間として、子育て応援課前にパネル展示を実施。ファミサポの利用、協力会員の確保に努めていきます。

〔別表 1〕ファミリーサポートセンター援助活動の状況

内 容	令和4年度	前年度比
保育所・幼稚園の登園前の預かり	7 回	6 回
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	228 回	204 回
保育所・幼稚園の送り	127 回	108 回
保育所・幼稚園の迎え	126 回	70 回
学童保育終了後の預かり	7 回	5 回
学童保育開始前の預かり	0 回	0 回
学校の放課後の預かり	0 回	0 回
学校の登校前の預かり	2 回	2 回
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	5 回	2 回
保護者等の外出の場合の援助	3 回	△6 回
小学校へ／からの小学生の送迎	106 回	101 回
学童保育へ／からの小学生の送迎	3 回	1 回
子どもの病気時の援助	0 回	0 回
子どもの習い事等の場合の援助	327 回	276 回
保育所・学校等休み時の援助	10 回	5 回
保育所等施設への入所前の援助	1 回	1 回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	104 回	92 回
保護者等の求職活動中の援助	0 回	0 回
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	1 回	1 回
協力会員宅以外での援助	90 回	81 回
その他	14 回	13 回
合 計	1,161 回	962 回

※ 1 回の活動に複数の区分に該当する場合はダブルカウントしています。

※ その他内容→保護者のリフレッシュ

〔別表 2〕産前産後家庭サポート援助活動の状況

内 容	令和4年度	前年比
家事支援（食事の準備）	3 時間	1 時間
家事支援（居室等の掃除）	0 時間	△1 時間
家事支援（洗濯）	0 時間	0 時間
家事支援（買い物）	1 時間	1 時間
育児支援（もく浴の介助）	0 時間	△0.5 時間
育児支援（授乳の補助）	0 時間	0 時間
その他	0 時間	△2 時間
合計	4 時間	△1.5 時間

令和4年度

事業報告

公益事業区分

公益事業

I 地域包括支援センター			
1	地域包括支援センター	担 当	日高市高麗川地域包括支援センター
令和4年度 事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題	
日高市地域包括支援センター事業の運営方針に基づき次の業務を行います。 (1) 包括的支援事業 ①第一号介護予防支援事業 総合事業において、事業対象者に支援計画を作成し、訪問型サービス、通所型サービスを適切に提供し、自立した生活が続けられるよう支援します。なお、要支援認定を受け、総合事業のみ利用する場合も第一号介護予防支援事業として一体的に支援します。 ②総合相談支援業務 本人、家族、地域住民、ネットワーク関係者などからの情報をもとに、高齢者宅を訪問することで心身の状況や家庭環境などを把握し、相談者に適切な支援や提案を行います。 (2) 権利擁護業務 ①成年後見制度の活用 当事者の権利を守るための支援を行います。 ②高齢者虐待への対応 高齢者虐待については市と迅速に連携し適切に対応します。 ③困難事例への対応 困難ケースへの介入を行い、具体的な支援方針を提案し介護支援専門員への支援に努めます。 ④消費者被害の防止		(1) 包括的支援事業 ①第一号介護予防支援事業 訪問介護、通所介護のみを利用しているかたに介護予防ケアマネジメント対象者としてサービスの利用を提供しました。 ②総合相談支援業務 延べ1,406件（前年度比△520件）の総合相談がありました。 (2) 権利擁護業務 ①成年後見制度の活用 制度の活用や周知に努めました。 ②高齢者虐待への対応 延べ5件（前年度比△54件）の支援を行いました。 ③困難事例への対応 延べ436件（前年度比△423件）の支援を行いました。支援の長期化・複雑化に伴い、多機関との連携が必要となっています。 ④消費者被害の防止 日高市消費生活相談センターと連携し、被害の防止に努めました。	
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務		(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業	

①包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築

介護支援専門員が社会資源を活用できるよう地域の連携、協力体制を整備します。

②介護支援専門員に対する支援

支援困難ケースなどについて、助言や同行訪問を行い円滑な業務ができるよう後方支援を行います。

③ケアマネサロンの開催（年6回）

「日高市ケアマネ連絡会」での協議により、資質の向上を目的とした事例検討会や外部講師による研修会などを行います。

（４）在宅医療・介護連携推進事業

①多職種連携座談会「飯能・日高ワールドカフェ」への参加

②在宅医療連携拠点は「はんのう」との連携

（５）認知症総合支援事業

①認知症初期集中支援事業

認知症初期集中支援チーム検討委員会への出席、初期集中支援チーム員会議を通じて認知症のかたの支援に努めます。

②認知症地域支援推進員の活動

認知症地域支援推進員の定例会議を通じ、認知症サポーター養成講座、認知症相談窓口を拡充し、地域のかたに認知症についての正しい知識の普及啓発、当事者の社会参加の機会、介護者の交流の場を提供します。

③認知症家族・当事者への支援

オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施や認知症

①包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築

関係機関、自治会、ボランティア団体、企業との連携に努めました。

②介護支援専門員に対する支援

③ケアマネサロンの開催

延べ104件（前年度比△55件）のケアマネ相談支援とケアマネ連絡会、ケアマネサロンの開催を通じて介護支援専門員の資質の向上に努めました。

（４）在宅医療・介護連携推進事業

①多職種連携座談会 飯能・日高ワールドカフェへの参加

Zoom会議に参加。市民フォーラムは飯能日高ケーブルテレビにて開催しました。

②「在宅医療連携拠点は「はんのう」との連携

メディカルケアステーション（MCS）に登録しSNSで情報交換を行いました。高麗川団地にて、アドバンスケアプランニング（ACP）の普及啓発を行いました。

（５）認知症総合支援事業

①認知症初期集中支援事業

定期チーム員会議に参加しました。認知症相談とし47件の報告を行い、医師等からのアドバイスにより認知症の人の支援に努めました。

②認知症地域支援推進員の活動

定期会議に参加。認知症サポーター養成講座の開催、認知症関連事業の情報誌の作成をし、全戸配布。アルツハイマー月間にて市内商業施設で認知症普及啓発イベントを実施しました。

③認知症家族・当事者への支援

東急こまがわオレンジカフェが1月から再

相談窓口の普及を通して、認知症の人およびその家族や支援者の社会参加を支援します。

(6) 生活支援体制整備事業（第2層担当）

- ① 第2層の生活支援コーディネーターとして担当圏域のニーズと既存の社会資源の把握、担い手づくりなど、住民共助の活動の充実に努めます。
- ② 圏域内でケアラーを支援するための介護者サロンの開催と圏域内の地域ケア会議の開催と継続開催を目指します。

(7) 地域ケア会議の充実

- ① ケアマネジメント支援型地域ケア会議の参加
市が主催するケアマネジメント支援型の地域ケア会議への出席、調整、進行を行います。
- ② 圏域型地域ケア会議
自治会や行政区単位で高齢者の実態把握及び地域課題の共有のための会議を定期的に行うことをめざします。

(8) 指定介護予防支援業務

訪問介護、通所介護以外のサービスを希望されるかたは引き続き要介護認定申請をしていただき、介護予防給付によるサービス提供を行います。

(9) 一般介護予防事業

- ① 日高市健康ロコモ体操や認知症予防を含めたフレイル予防教室を公民館や日高アリーナにて開催します。
- ② 圏域内での介護予防に関する実情やニーズに応じ、介護予防教室の内容を検討し、開催します。
- ③ 地域介護予防活動支援事業
住民主体の介護予防教室として開始した「くりくり元気体操」の普及とその活動を支援する介護

開しました。こま川団地出張相談を開催しました。

(6) 生活支援体制整備事業（第2層担当）

URと連携し、居場所づくりに向けた介護予防イベントを8回実施しました。
その内、介護者サロンも高麗川圏域内の介護保険事業所、傾聴ボランティアから協力があり開催しました。
「四本木陽だまりの会」サロンの立ち上げ支援を行いました。

(7) 地域ケア会議の充実

- ① ケアマネジメント支援型地域ケア会議参加
市が主催するケアマネジメント支援型の地域ケア会議への出席、進行、助言を行いました。
- ② 圏域型地域ケア会議
圏域内3か所（原宿・こま川団地・東急）で心配なかたの情報交換や、地域課題の話し合いを行いました。

(8) 指定介護予防支援事業

要支援認定者のかたに適切な介護予防プランを作成しサービスを提供しました。

(9) 一般介護予防事業

- ① 日高ロコトレ教室
事前予約制などの感染防止対策を行い、2か所の公民館にて計18回開催し、ロコモティブシンドロームの予防に努めました。
- ② はつらつ健幸教室
事前予約制などの感染予防対策を行い、2か所の公民館、日高アリーナにて計24回開催し、フレイル予防の普及啓発に努めました。
- ③ 地域介護予防活動支援事業
感染予防、対策を講じ「くりくり元気体操」の活動を再開するグループも徐々に増

予防ボランティア（くりくりサポーター）の支援に努めます。

(10) その他の事業

- ① 認知症サポーター養成講座の開催
- ② 救急医療情報キットの配布（随時）
- ③ 日高市地域包括支援センター便り発行（年2回）
- ④ 日高市情報交換会の実施（隔月）
- ⑤ 在宅看護実習生の受け入れ（埼玉医科短期大学）
- ⑥ 介護保険制度説明などの出前講座や出前相談の実施

え、普及とその活動の支援に努めました。

当センターが企画、実施した介護予防教室を総合福祉センターにて計2回開催し、ロコモティブシンドロームの説明と測定、フレイル予防に努めました。

(10) その他の事業

- ① 認知症サポーター養成講座を計7回開催しました。
- ②③ 略
- ④ 市内3包括共同で介護予防に関する情報を発信しました。
- ⑤ 13名の実習生を受け入れ、地域ケアや介護予防の重要性について学習支援を行いました。
- ⑥ 略

【成果と課題】

年度当初からの新型コロナウイルスの影響により、計画していた事業の変更、休止、縮小しながら対応しました。コロナ禍における「新しい生活様式」での包括的支援方法やフレイル（虚弱・不活発）予防のための介護予防事業の企画、提供に努めます。

令和4年度 事業実績表

センター名	高麗川地域包括支援センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	計
総合相談事業	計(電話・来所・訪問・文書) A	120	121	128	105	100	97	890	143	95	129	132	128	91	718	1,406
	電話	57	58	52	53	54	52	328	82	59	82	72	54	39	388	684
	来所	28	18	31	22	23	22	144	21	13	37	20	22	31	144	288
	訪問	35	43	42	29	23	22	104	38	22	30	39	44	18	181	385
	文書	0	2	1	1	0	1	5	2	1	0	1	0	3	7	12
	《再掲》認知症に関連する総合相談	5	2	3	5	3	3	21	11	4	3	3	6	3	80	61
権利擁護事業	相談実人数	90	94	91	88	77	77	517	87	80	90	87	80	74	508	1,025
	計 B	71	58	82	72	74	65	422	52	104	59	86	60	77	448	870
	延件数	0	0	0	1	1	3	5	5	1	0	1	0	0	7	12
	高齢者虐待	0	0	0	0	3	1	4	0	0	0	0	1	0	5	5
	困難事例	71	58	82	71	70	61	410	47	103	59	95	58	77	439	852
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	計	34	33	39	35	37	33	211	27	44	37	46	35	60	239	450
	実人数	0	0	0	1	1	2	4	3	1	0	1	0	0	6	9
	高齢者虐待	0	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	1	0	4	4
	困難事例	34	33	39	34	34	30	204	24	43	37	45	33	50	202	436
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	訪問調査に 送った件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	立入につなげた回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	「やむを得ない事由」、「環境上・経済上の理由」 による入所措置(実人数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	ケア体制の構築	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	11
	個別ケース型地域ケア会議開催件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日常相談業務	9	12	7	4	7	6	45	9	13	11	16	5	5	69	104
	サービス事業者相談(延件数) D	2	5	4	2	3	2	18	3	2	3	0	3	2	10	31
第1号介護予防支援事業	その他の連携	42	30	22	51	35	38	210	48	48	50	56	38	62	281	509
	医療機関との連携(延件数)	91	100	137	115	128	107	673	151	129	149	142	158	97	828	1,502
	介護予防ケアマネジメント件数	45	46	44	45	42	44	208	42	43	45	44	49	49	272	538
	内、業務委託件数	12	12	8	9	7	7	65	7	7	8	8	9	9	48	103
指定介護予防支援業務	業務委託事業者数	5	5	4	4	4	4	26	4	4	5	5	5	5	28	64
	介護予防支援事業件数	100	102	105	102	99	98	606	99	97	99	97	91	94	577	1,183
	内、業務委託件数	21	22	25	22	21	21	132	21	22	21	20	20	20	23	258
	業務委託事業者数	6	6	7	7	7	7	40	7	7	6	6	6	6	38	78
認知症総合支援事業	認知症カフェ・出前相談の実施回数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	2	2	2	9	15
	参加者数(ボランティアを含む)	4	3	2	5	3	8	23	6	7	8	17	18	14	68	91
	はつらつ健康教室の実施回数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	24
認知症予防教室	参加者数(ボランティアを含む)	23	20	24	20	28	18	131	32	35	38	34	48	52	237	388
	一般介護予防教室などの実施回数	0	2	2	2	0	2	8	2	2	0	2	1	3	10	18
一般介護予防教室	参加者数(ボランティアを含む)	0	22	28	30	0	36	116	32	38	0	38	11	64	181	297

公益事業		
Ⅱ 障がい者就労支援センター		【市受託事業】
1 障がい者就労支援センター	担 当	相談支援課
令和4年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
障がい者の就労機会の拡大を図るとともに障がい者が身近な地域において安心して働き続けられるよう、就労促進を行うことにより、障がい者の自立と社会参加を図ることを目的として、日高市障がい者就労支援センター「えるむ」を運営します。 (支援項目) ①職業相談 ②就労準備の支援 ③職場開拓 ④職場実習の支援 ⑤職場定着の支援 ⑥離職時の調整及び離職後の支援	昨年度同様、新規就労者数の増加と離職者の減少に努めた結果、離職者については昨年度の15名から10名に減少しました。この結果は、支援員の増員により生活支援が充実したことによる効果であり、また、31名が新規就労し、うち2名が正規登用されました。現在でも有期契約（パートタイム）が主流となっている現状としては大きな成果と言えます。 (内容及び実績) ※作図中 【成果と課題】 就労アセスメントツール「ワークサンプル幕張版」を導入したことから、数値化した評価による客観的な適性を登録者と共有し、より適切な支援が可能となりました。一方で課題としては、新卒者や若年者の定着支援、調整、早期の離職、その後の復職支援に時間を要しています。今後は、本年度、飯能青年会議所と地元企業との雇用促進で協力関係をもつことができ、より積極的な連携を行い、障がいがある若年者が住み慣れた地域で働くことが出来る環境の開拓に努めていきます。	

公益事業

Ⅲ 生活困窮者自立支援事業

【市受託事業】

1 生活困窮者自立相談支援事業

担 当

相談支援課

令和4年度事業計画・概要

事業実施結果・成果と課題

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

① 自立相談支援事業

アセスメントによりプラン案の作成、支援調整会議の実施

② 自立相談支援事業による就労支援

③ 住居確保給付金の支給

④ 生活困窮世帯の子どもの学習支援

⑤ 無料職業紹介事業

⑥ 職員の資質向上のための研修受講

(2) 地域づくり・地域連携業務（相談支援体制包括化の推進）

行政、関係機関、市民との連携を進めます。

① 普及・啓発促進

② 新たな社会資源の検討・その他情報の活用と連携

③ 生活の困りごとなどの出前相談

④ フードバンク・フードドライブの実施

⑤ フードパントリーの定期開催

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

(2) 地域づくり・地域連携業務（相談支援体制包括化の推進）

生活困窮者等の自立と尊厳の確保に向けた相談支援を行いました。

【内容及び実績】

相談実績		支援実績		周 知	
相談受付	194	調 整	1,343	出前相談	0
プラン作成	38	相談支援	1,875		
		同行支援	60		
		食糧支援	122		

【成果と課題】

- ・ 新規相談受付件数は194件と新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の状況にもどりつつありますが、特例貸付などの利用終了に伴い、複合課題を抱えた世帯からの相談が増えており、生活の立て直しのための就労支援など同行支援も前年度の36件から60件と増加しています。
- ・ 住居確保給付金の新規申し込みは9件と、前年度より5件減少しました。
- ・ 生活応援としてフードパントリーを8回実施し、延べ977世帯へ食の支援を行い、個別の食料支援についても延べ122世帯への提供を行いました。コロナの影響が残る中、物価の高騰がさらに生活を圧迫し、食の支援を必要とする世帯が増加しています。
- ・ 食料支援については、希望者が増え続ける中、食料の確保や提供に至るまでの準備などが課題となっています。

2 生活困窮者就労準備支援事業		担 当	相談支援課
令和4年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題	
生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に対して、就労に向けた準備としての基礎能力の形成からの一貫した支援を計画的に実施します。		様々な理由により、社会参加へのブランクのある人に対して、段階を踏んだ支援を行いました。 【成果と課題】 ひきこもりについての相談は12件ありました。相談件数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少傾向にありましたが、コロナの終息に伴い増加しています。当事者については女性が2名のところ男性が10名と男性についての相談が多い傾向にあります。就労準備事業の利用実績については評価時点で8件です。	

3 生活困窮者家計改善支援事業		担 当	相談支援課
令和4年度事業計画・概要		事業実施結果・成果と課題	
生活困窮者自立支援法に基づき、家計に課題を抱える生活困窮者に対して、必要な情報の提供または専門的な助言、指導等を行うことにより、生活困窮者自身の家計を管理する能力を高め、早期に生活が再生されるよう支援します。		生活困窮者の多くが家計管理に課題を抱えているため、初期相談の段階で把握を行い、改善に向けた助言・支援を行い、状況により弁護士への債務整理相談や、貸付へのつなぎを行いました。評価の段階での利用実績は46件と前年度の30件から増加しています。 【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の影響による減収世帯への特例貸付を利用後に生活を立て直すことができないまま生活維持困難なため再度貸付を利用したいとの相談が多数ありました。根本解決のための支援を提案しても本人が望まないこともあり、改善が困難な状況も多くありました。また、年金だけでは生活ができないという高齢者からの相談も増加しているため、家計改善支援と並行し益々食料支援が重要となってくると考えられます。	

公益事業		
IV 生活支援体制整備事業		【市受託事業】
1 生活支援体制整備事業	担当	地域福祉課地域福祉担当
令和4年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題	
高齢者世帯や認知症高齢者が増加する中、生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的として実施します。 (1)生活支援コーディネーター(第1層)の配置 生活支援コーディネーターを配置し、多様な主体による取組の調整業務を行うことにより、地域における一体的な生活支援等サービスの提供体制の整備を推進します。	(1)生活支援コーディネーター(第1層)の配置 ①生活支援コーディネーター会議 第1層、第2層コーディネーター間の情報共有を目的としてコーディネーター会議を開催しました。(12回開催) ②地域居場所づくりの支援 ・ふれあいサロン相談、実施 ・おしゃべりサロン協力会再開に向け相談 ・横手台自治会館でのスマホ体験会の実施 ・四本木で新たなサロン開催に向け活動支援 ③会議等参加(地域支援・団体支援・情報共有) 地域支援等を目的として、各種会議に参加し、課題把握や情報共有を図りました。 ・各地域おたすけ隊(4隊)会議 ・地域おたすけ隊コーディネーター会議(年4回) ・ケアマネジメント支援型地域ケア会議(12回) ・第2層協議体(武蔵台、こま川団地、東急こま川、原宿、高萩団地) ・地域ケア会議(横手台、高麗、こま川団地、東急こま川、原宿) ・こま武蔵台福祉ネット定例会議(隔月) ・傾聴ボランティア団体定例会 ・ガイドヘルプボランティア団体定例会 ・県社協から情報提供 ④サロン等の集いの場への訪問 ・たかねサロン、ふれあいサロン、ひまわり会、四本木陽だまりの会 ・福祉ネット配食サービスの活動視察 ・サロンに参加する効果等について説明 【生活支援体制整備構築に関する取り組み等】 ①連絡調整 ・ガイドヘルプボランティア依頼調整 ・運転ボランティア依頼調整	

(2) 協議体の運営 生活支援等サービスの体制整備に向けて、多様な主体の参画を進めるため、生活支援コーディネーターと多様な活動団体等が参画する情報の共有・連携強化の場として設置された協議体（第1層）を運営します。	・企業の地域貢献とサロンとの調整 ・NPO 法人とたすけあい日高とおたすけ隊との情報交換 ②研修会等参加 ・令和4年度支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム ・長野県移動サービス事例報告会 ・介護予防事業情報交換会（第1回、第2回） ・企業・事業者向け地域包括ケアシステムセミナー（当市の事例発表） ・日高市要援護高齢者等支援ネットワーク研修会 ・地域包括ケアシステム取組報告会兼予算説明会（当市の事例発表） ・生活支援コーディネーターブロック別連絡会議 ・生活支援コーディネーター課題別フォローアップ研修 ・生活支援コーディネーター課題別研修 ・住民参加型活動事例研修会 ・埼玉県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームキックオフイベント ③その他 ・武蔵台シニアクッキングの視察 ・移動支援についての聞き取り調査 ・旭ヶ丘ハッピータウン朝市の視察 (2) 協議体の運営 ①第1層協議体 開催しませんでした。 ②3市3町合同生活支援体制整備 生活支援体制整備を推進していく協議体のあり方や協議体の活性化を図るため、情報共有と、サロン再開に不安を感じている活動者向けに専門職から感染対策等の講座をオンラインで実施しました。その様子を録画し、サロンや協議体で活用できるように動画を作成しました。 ・動画 感染症対策と地域活動
--	--

(3) 担い手養成に向けた取組 地域生活支援体制の構築に向けて、地域住民や関係者に向けた事業周知及び協力の呼びかけを強化します。	・講演 一般社団法人坂戸鶴ヶ島医師会 在宅医療相談室長 清野 恵理子 氏 (3) 担い手養成に向けた取り組み 地域生活支援体制の構築に向けて、事業周知及び協力の呼びかけを強化しました。 ① 事業周知、担い手養成関係 ・地域おたすけ隊説明会 (鹿山上区、野々宮区) ・地域おたすけ隊説明会(高麗川地区民児協定例会) 【成果と課題】 第2層生活支援コーディネーターが抱えている課題や協議体の進め方等の支援をすることで、地域の方や各地区の協議体の中で話し合われた内容や課題を把握できました。 サロンを開催する団体に対し、企業の地域貢献で提供できる情報をつなげ参加者の増進を支援しました。 市内における新たな社会資源の開発や課題解決のための連携の機会として強化を図る必要があります。
--	---